ＪＡ－ＩＴ研究会

第４３回公開研究会のご案内

参加お申込み
６月３日（金）まで

日　時　2016 年 6 月 10 日（金）13:00 ～ 18:00
　　11 日（土）　9:00 ～ 11:30

場　所　東京・ＪＡビル 27 階大会議室

テーマ　**地域リーダーおよび営農指導員育成の課題と取り組み**（仮題）

司会　◆松岡 公明（ＪＡ－ＩＴ研究会 企画委員）

１日目　6 月 10 日（金）13:00～18:00

受　　付　12:00 ～

基調講演　13:00～13:50
◆今村 奈良臣（ＪＡ－ＩＴ研究会 代表委員）

第１報告　14:00～14:50
創造的自己改革の考え方
◆馬場　利彦（ＪＡ全中 参事 兼 営農・経済改革推進部長）

第２報告　15:00～15:50
組合員の切磋琢磨と成長を促す指導・販売・情報循環の仕掛け
◆大友 忠（ＪＡ秋田おばこ 常務理事）

第３報告　16:00～16:50
生産部会の結束がもたらす販売振興
～ブドウ再興の裏で部会と指導員はどう動いたか～
◆佐々木 真（ＪＡ中野市 営農部 部長）

質疑応答　17:00～18:00

◇交流懇親会　18:00～20:00　（別会場にて）

２日目　6 月 11 日（土）9:00～11:30

問題提起　9:00～ 10:00
１日目の総括と問題提起
◆黒澤 賢治（ＪＡ－ＩＴ研究会 副代表委員）

総合討論　10:10～11:25
◆司会：松岡 公明（ＪＡ－ＩＴ研究会 企画委員）

閉会挨拶　11:25～11:30
◆今村 奈良臣（ＪＡ－ＩＴ研究会 代表委員）

※プログラムは変更の可能性があります。
※報告タイトルは全て仮題（事務局原案）です。

11:30～12:00
ＪＡ－ＩＴ研究会 2016 年度総会
（会員の皆様はご出席ください）

開催趣旨

地域リーダーおよび営農指導員育成の課題と取り組み （仮題）

創造的自己改革への挑戦が始まる

改正農協法が施行されました。第 27 回ＪＡ全国大会決議を踏まえ、農業者の所得増大と農業生産の拡大、地域の活性化に全力を尽くすＪＡの創造的自己改革への挑戦が始まります。

地域コミュニティがＪＡ営農経済事業の土台

地域農業およびＪＡ営農経済事業は、生活空間でもある地域コミュニティの上に成り立っています。農家組合員、さらには非農家も含めた住民が結集し、合意形成し、協同活動に参画する――コミュニティがこのように活性化してこそ、農業生産も拡大し、ＪＡの事業運営および経営も健全になります。

市町村も広域合併し、地域の暮らしと産業を支える様々なインフラが後退しつつある今、農協には、コミュニティの自治・自立を支援する役割がますます強く求められているといえます。それには、農業生産や住民の自治、協同活動をリードする地域リーダー、そして、コミュニティに働きかけ、コミュニティとともに成長できる職員、とくに営農指導員の育成が欠かせません。

地域リーダーと営農指導員の育成が要

しかし、ＪＡの広域合併と支所再編が進むなか、地域とＪＡとのつながりが薄れている現状は否めません。また、組合員の声よりもＪＡの組織内事情が優先され、組合員とＪＡの関係も「お客様と業者」のような関係になっていないでしょうか？　コミュニティとの関係性の最前線に立つ営農指導員は、「農協とは何か」を組合員に語れるでしょうか？　営農指導員数そのものの不足や他事業への流出も深刻です。営農指導員を農協および地域のなかにどう位置づけ、育成・確保していくかが問われています。

他方、コミュニティを中心的に支える地域人材――生産部会のリーダーや集落組織の役職者層――は大世代交代期を迎えており、次の世代を協同活動に結集できなければ、コミュニティの存続そのものが立ちゆかなくなる状況にあります。組合員が協同活動に結集し、協同活動への参画をつうじて、コミュニティを支える地域リーダーへと成長していけるような仕組みの構築が求められます。

今回の公開研究会では、地域リーダーと営農指導員の育成に関して、とくに次の点を掘り下げて議論したいと考えます。

①コミュニティに向きあえる営農指導員が育ってこなかったとすれば、それはＪＡの組織体制や事業運営にどのような問題があったためか？

②地域リーダーがなぜ不足しているのか？

③地域リーダーと営農指導員を両面的に育成していくためには、どうしていけばいいのか？

営農指導員が地域に働きかけ、地域リーダーがＪＡに働きかけ返す。その関係を再構築することで、地域農業とＪＡ事業との間に好循環が生まれる……。そのような地域農業とＪＡ営農経済事業再建の道筋をともに考え、実践していきたいと思います。

■ 公開研究会 参加費（当日会場で申し受けます）

会　員：12,000 円（交流懇親会費 込）

※ 会員ならびに団体特別会員で 2 人目以降の参加者は、参加費が 9,000 円になります。

非会員：17,000 円（交流懇親会費 込）

※※ 会員・非会員ともに、参加費に宿泊費は含まれていません。宿泊は別途ご手配ください。

■参加お申込み方法

同封の参加申込書にご記入、Fax で下記宛にお送りください。

〒107-8668 東京都港区赤坂 7-6-1 （一社）農文協 経営局内

JA-IT 研究会事務局 宛

Fax. 03-3589-1387

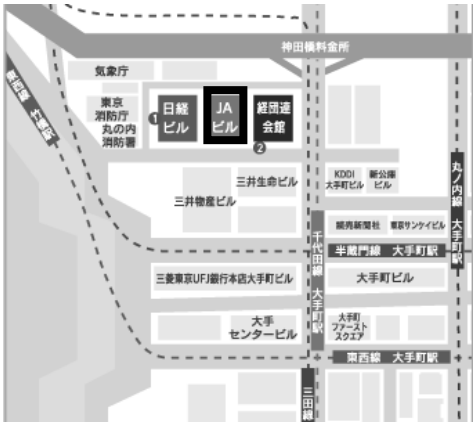
○申込み締切　2016 年 6 月 3 日（金）

※締切日を過ぎてのお申込みは、ＪＡ－ＩＴ研究会事務局宛ご相談ください。

※ＪＡビルに入館するには、氏名の事前登録が必要です。必ず事前に参加お申込みください。原則として当日の飛び入り参加はご遠慮ください。

■会場

ＪＡビル（〒100-6837 東京都千代田区大手町 1-3-1 ＪＡビル）27 階



大手町駅（地下 1 階にて C2b 出口が直結）
東京メトロ/千代田線・半蔵門線・丸ノ内線・東西線、都営三田線

竹橋駅（4 出口から徒歩 3 分）東京メトロ/東西線

東京駅（丸の内出口から徒歩 15 分）JR 各線

□ＪＡ－ＩＴ研究会 ホームページ： http://www.ja-it.net/

□ＪＡ－ＩＴ研究会 事務局

○ **全国農業協同組合中央会（ＪＡ全中）**営農・経済改革推進部 担い手総合支援課内

〒100-6837 東京都千代田区大手町 1-3-1 ＪＡビル

○ **一般社団法人 農山漁村文化協会（農文協）**経営局内

〒107-8668 東京都港区赤坂 7-6-1

◆実務的なお問合せは下記にお願い申し上げます。

一般社団法人 農山漁村文化協会 経営局内 ＪＡ－ＩＴ研究会事務局

Tel: 03-3585-5211　Fax: 03-3589-1387

E-Mail: info@ja-it.net

Fax： 03-3589-1387

ＪＡ－ＩＴ研究会「第 43 回公開研究会」参加申込書

日にち：2016 年 6 月 10 日(金)～6 月 11 日(土)

於：大手町・ＪＡビル　27 階「大会議室」

申込〆切：2016 年 6 月 3 日（金）

申込先：ＪＡ－ＩＴ研究会事務局

〒107-8668 東京都港区赤坂 7-6-1 農文協内

TEL. 03-3585-5211　FAX. 03-3589-1387

E-mail：info@ja-it.net

●参加費・懇親会費は当日、会場受付にて現金で申し受けます。その際、領収書を発行いたしますが、領収書の宛名や但し書にご要望がございましたら、事前に事務局までお申しつけください。

●参加予定が変更になった場合は必ず事前にご連絡ください。

（複数でご参加の場合は、本用紙を複写して申し込み願います）

必ずご記入ください

(ふりがな)

(お名前)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　＿＿＿＿歳　　会員　／　非会員

【ご所属先】

〒＿＿＿＿＿　(ご住所)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

(団体名)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

(部署・職種・肩書)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

(TEL)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　(FAX)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

(E-mail)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

【参加日程】（右の空欄の「参加・不参加」のどちらかを○で囲んでください）

研究会１日目	（6 月 10 日（金）13:00～18:00）	参加　不参加
交流懇親会	（6 月 10 日（金）18:00～20:00）	参加　不参加
研究会２日目	（6 月 11 日（土）　9:00～11:30）	参加　不参加
2016 年度総会	（6 月 11 日（土）11:30～12:00）	参加　不参加 ※会員の方はご記入ください

【参 加 費（懇親会費込み）】

会　員：12,000 円　＊会員ならびに団体特別会員で２人目以降は参加費が 9,000 円になります。

非会員：17,000 円

※会員・非会員ともに宿泊費は参加費に含まれておりません。宿泊は別途ご手配ください。

通信欄

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ H